取扱説明書

DAYTONA CORP.

65580①/⑮

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
ロングストロークククランク （48.8mmストローク）	APE100 XR100モタード	65580

この度はデイトナ「ロングストロークククランク」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取付前に必ず商品の内容をお確かめください。
万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。

■ご使用前に必ずご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。
取扱説明書内の指示や注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社は一切の責任を負いません。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

その他

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施

- この商品の取り付けにはエンジン脱着と分解組み立てが必要になります。別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

禁止

- 空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高い負荷がかかりますので避けてください。エンジンの耐久性に悪影響をおよぼすだけでなく、クランクシャフトの破損につながる恐れがあります。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品を取り付けるとオートバイの性能が変化します。特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して操作し、オートバイの感覚を確かめてください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

□　ロングストロークククランク装着についての注意事項　□

禁止

- このクランクシャフトには純正の ACG ロータを取り付けて使用しないでください。重いＡＣＧロータを取り付けて急加減速を繰り返すとクランクに負担がかかり、クランク破損につながる恐れがあります。市販のアウターロータキットなど純正より軽量なＡＣＧロータの電装系に交換してください。
- この商品のクランクシャフトには、ドリーム５０用純正クラッチカバーを組み合わせて使用しないでください。ＡＰＥ１００とドリーム５０ではクランクシャフト形状が違うため、クラッチカバーのオイルシール内部の正しい位置にクランクシャフトの端が届かず、オイル通路を確保できません。潤滑不良でエンジンが破損しますので、この組み合わせでは使用しないでください。

その他

- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。

□　本商品の特徴　□

- APE100 系のロングストローククランクです。48.8mmストロークで、57mmボアと組み合わせると 124.4ｃｃとなります。
- クランクウェブ形状はラウンドタイプを採用し、トルクフルな特性としています。
- クランクピン部のすべりを避けるため、クランクピン周辺の強度を確保。

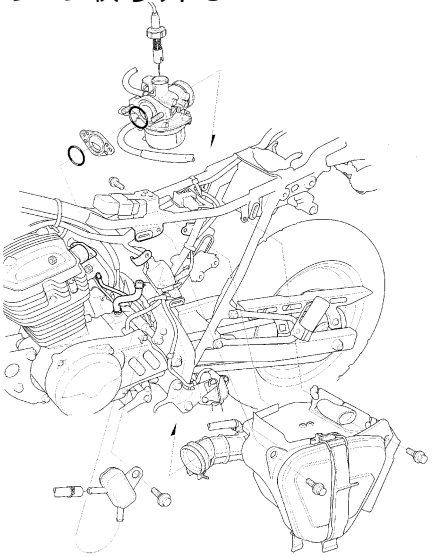
□　商品内容　□

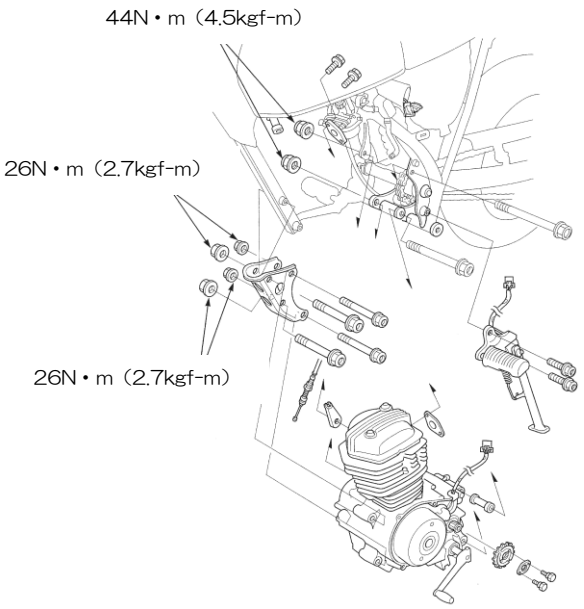
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	クランクシャフト ASSY.		1	②	ガスケット、クランクケース		1

□　取付方法　□

取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジン脱着作業はレーシングスタンド等を用いて車体をしっかりと保持し、安全に作業を行ってください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。
詳細についてはホンダ純正サービスマニュアルを用意し、参照のうえ作業を行ってください。
この商品に付属していないシリンダー関連のガスケットなどは別途ご用意したうえで作業を開始してください。

1. エンジンの取り外し

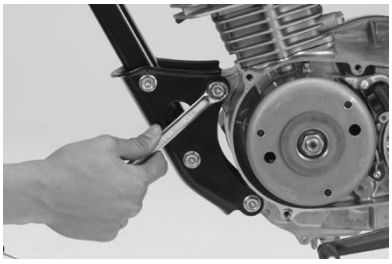
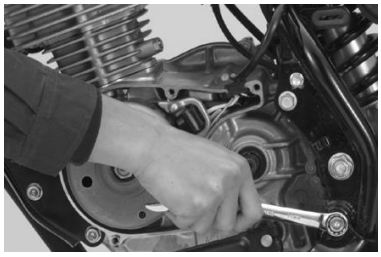




1-1.　エンジンオイルを抜き取ります。
1-2.　シート、タンク、キャブレター、エキゾーストマフラー、サイドスタンドスイッチのカプラ、左側ステップを取外します。

1-3. クラッチケーブル、ドライブスプロケット（チェーン）、ACG からのハーネス（カプラ）、プラグキャップ、ケース後部のブリーザーホースを取り外します。

1-4. クランクケース下側にジャッキまたは当て木を用意し、エンジンハンガーを取り付けているボルトを緩めて取り外し、エンジンを車体から取り外します。

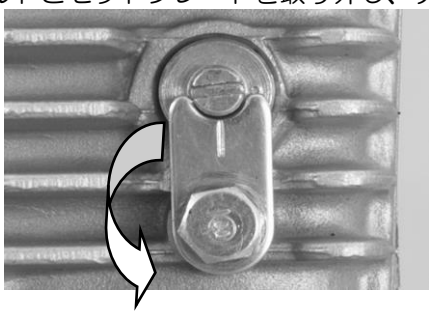
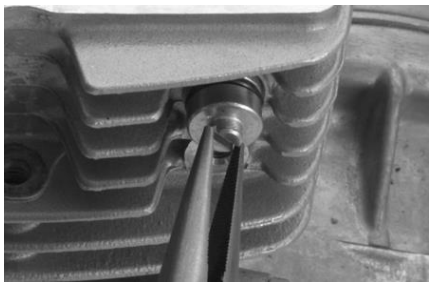



⚠注意
エンジンを落とさないように
注意して作業してください。

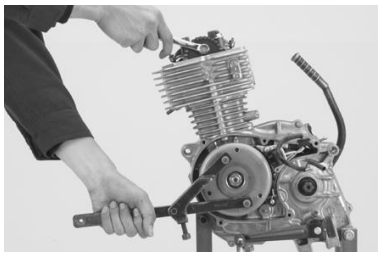
2. シリンダーヘッド、シリンダーの分解

2-1. ヘッドカバーボルト２本を緩め、エンジンからヘッドカバー、カスケットを取り外してください。

2-2. ロックボルトとセットプレートを取り外し、テンションアジャスターを取り外します。

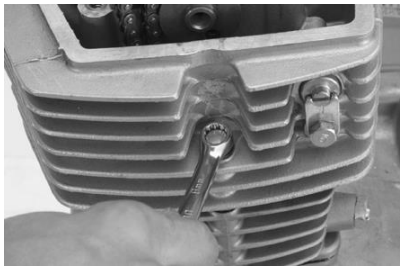
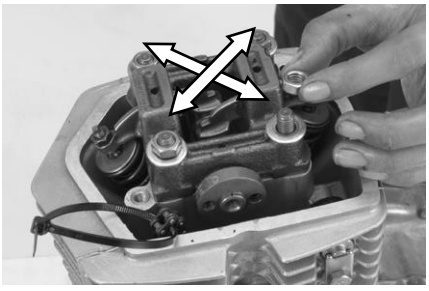



2-3. カムスプロケット取り付けボルトを取り外します。フライホイールをシザースホルダーで固定して作業します。

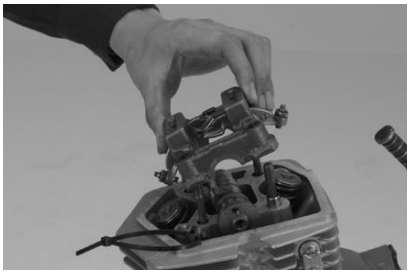


2-4. カムスプロケットを取り外します。カムチェーンが落ちないように、針金や結束バンドでつりさげておくと効率的です。

2-5. シリンダーヘッドマウントボルトと、カムシャフトホルダーを固定しているナットを緩め、取り外します。カムシャフトホルダーのナットは対角線上で数回に分けて緩めるようにします。

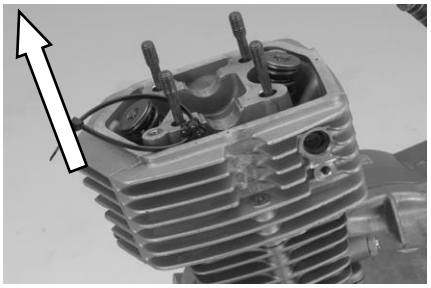



2-7. シリンダーヘッドからカムシャフトホルダーを取り外します。その後カムシャフトとノックピンを取り外します。

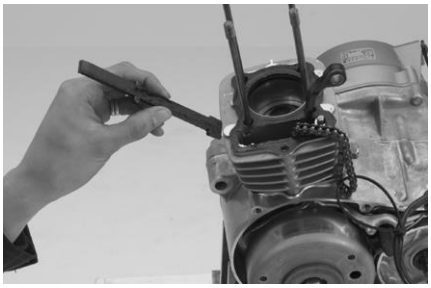


⚠注意
ノックピンは後で組み立てる時に使用しますので、変形させたりキズをつけたりしないように注意してください。
変形させた場合は必ず新しい物と交換してください。

2-8. シリンダーヘッドを取り外します。



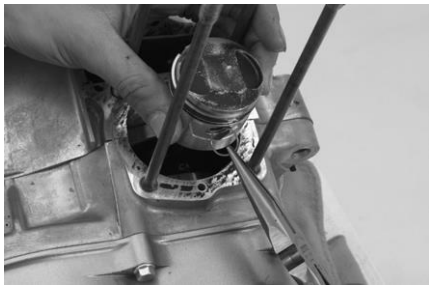
2-9. ノックピンとカムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを取り外します。その後クランクケース側のノックピンも取り外します。ケース側のノックピンはヘッド側に使用しているものと違いますので、間違えないように注意してください。



⚠注意
ノックピン、カムチェーンテンショナー、アジャストボルト等は後で組み立てる時に使用しますので、キズや変形、また磨耗の状態をよく確認してください。
磨耗がひどかったり、キズや変形が見られる場合は必ず新しい物と交換してください。

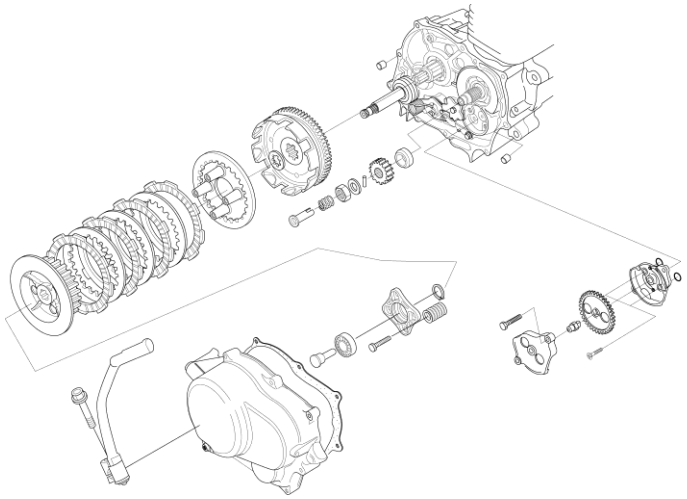
2-10. 取り外したシリンダーから、ロックナットとアジャストボルトを取り外します。カムチェーンテンショナーもシリンダーから取り外します。

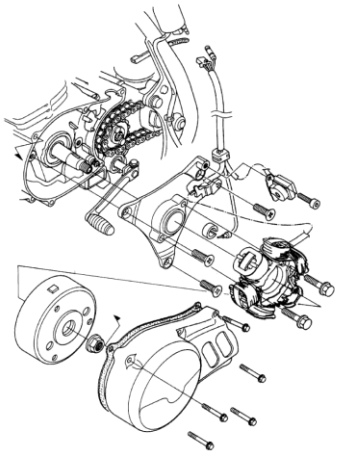
2-11. ピストンピンサークリップをラジオペンチ等で取り外し、ピストンピンを抜いてピストンを取り外します。



⚠注意
ピストンピンクリップがクランクケース内部に落下しないように、クランクケースの開口部をウエスで覆って作業してください。

3. クラッチ、ステーターコイルベースの分解





3-1. キックペダルを取り外し、R クランクケースカバーを取り外します。
3-2. クランクシャフト端に差し込まれている、オイルスルーとオイルスルースプリングを取り外します。

3-3. オイルポンプを取り外します。

3-4. プライマリドライブギヤナットを緩め、取り外します。

クランクの回り止めには、写真のように取り外したギヤをかませるか、ホンダ純正ギヤホルダー（ホンダ純正部品番号07724-0010100）を使用します。

3-5. キックシャフトについている、カラーとスプリングを取り外します。

3-6. クラッチとプライマリギヤを取り外します。
3-7. オイルスルーピンを抜き取ります。

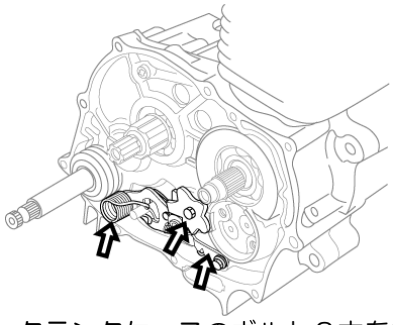
オイルスルーピン

3-8. エンジン左側の、ACG ロータとステーターコイルベース類を取り外します。クランクシャフトについているウッドラフキーを、クランクシャフトから取り外します。
3-9. カムチェーンを取り外します。

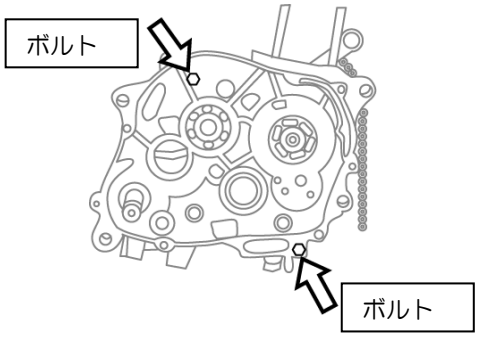
⚠注意
手順 3-7 で取り外したオイルスルーピンと、手順 3-8 で取り外したウッドラフキーは組み立て時に再利用しますので、なくさないように注意してください。
また、状態を確認して磨耗やキズ、曲がりなどが見られる場合はそのまま使用せずに新しいものと交換してください。

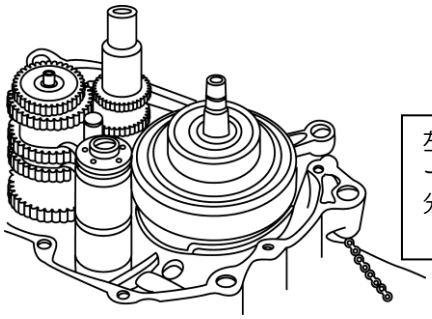
4. クランクケースの分割

4-1. ギヤシフト周り（矢印部）およびキックシャフトリターンスプリングの部品を取り外します。



4-2. クランクケースのボルト２本を緩めて取り外し、クランクケースを分割します。

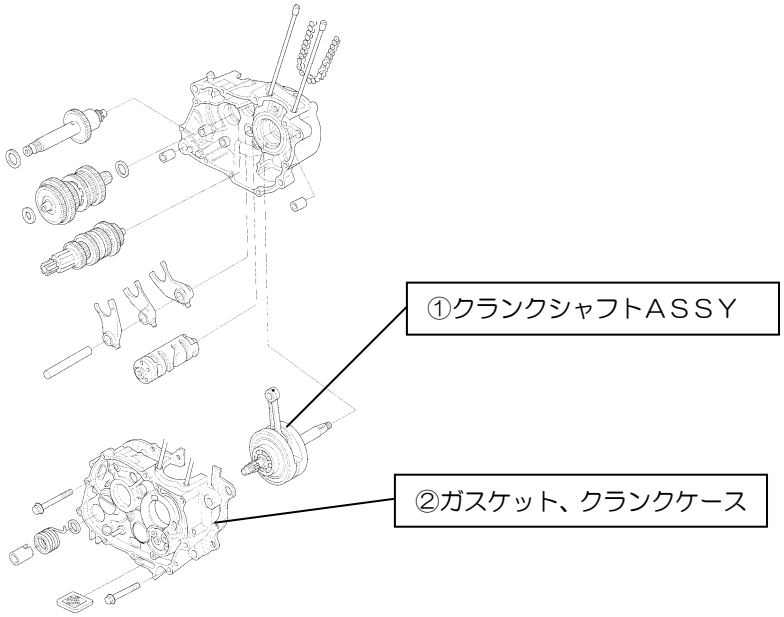




左側のクランクケースが残るように分解します。

4-3. 純正ガスケットおよびノックピン、クランクシャフトを取り外します。

5. クランクシャフトの交換、クランクケースの組み立て

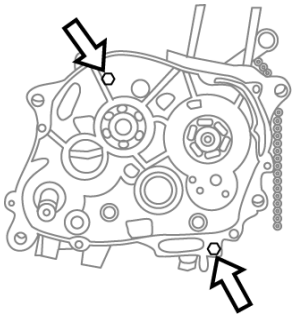


5-1. クランクケースに残っている純正ガスケットを除去します。ガスケットのカスなどがケースに残らないように注意してください。
5-2. ①クランクシャフトＡＳＳＹをパーツクリーナー等で洗浄し、その後コンロッド大端部とサイドベアリングにエンジンオイルをたっぷりと塗布します。
5-3. クランクケースに①クランクシャフトＡＳＳＹを組み込みます。
5-4. 手順 4-3 で取り外したノックピンを取り付けて、キットの②ガスケットを取り付けます。

5-5. トランスミッションおよびキックシャフトが正しく組み込まれているか確認したら、右側のクランクケースをかぶせます。

トランスミッションを分解もしくは交換した場合、組み立てについてはホンダ純正サービスマニュアル、もしくは交換するトランスミッションキットの取扱説明書を参照してください。

5-6. 手順 4-2 で取り外したボルト２本を締め付けクランクケースを組み立てます。



締め付けトルク
10N・m（1.0kgf-m）

締め付け後、クランクシャフトやトランスミッションなどのシャフト類がスムーズに回ることを確認してください。

5-7. 分解した工程を戻り、エンジンを組み立てます。
（手順 4-1 より：ギヤシフト周りの部品の取り付け）
（手順 3-9 より：カムチェーンの取り付け）
（手順 3-8 より：ウッドラフキー、ＡＣＧロータの取り付け）

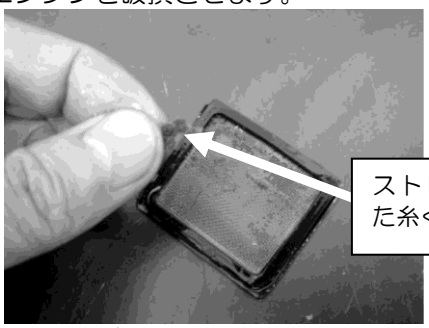
ＡＣＧロータの取り付けについては、取り付けるアウターローターキット等の取扱説明書を参照してください。

（手順 3-7 より：オイルスルーピンの取り付け）
（手順 3-6 より：プライマリードライブギヤとクラッチの取り付け）
（手順 3-5 より：プライマリドライブギヤナットの締め付け）

締め付けトルク
39N・m（4.0kgf-m）

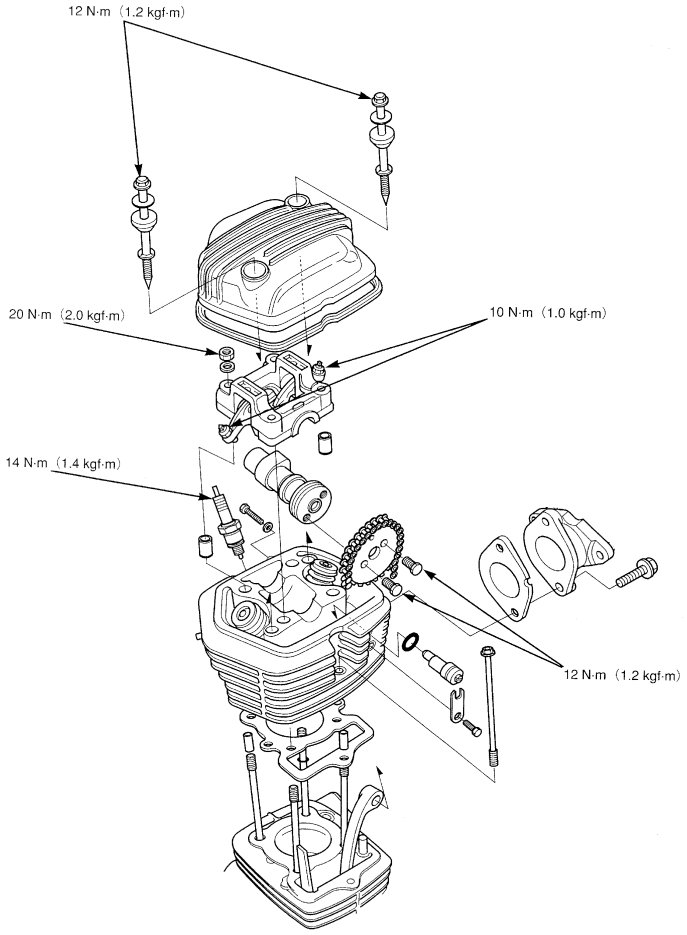
（手順 3-3 より：オイルポンプの取り付け）
（手順 3-2 より：オイルスルーの取り付け）
（手順 3-1 より：Ｒクランクケースカバーの取り付け）

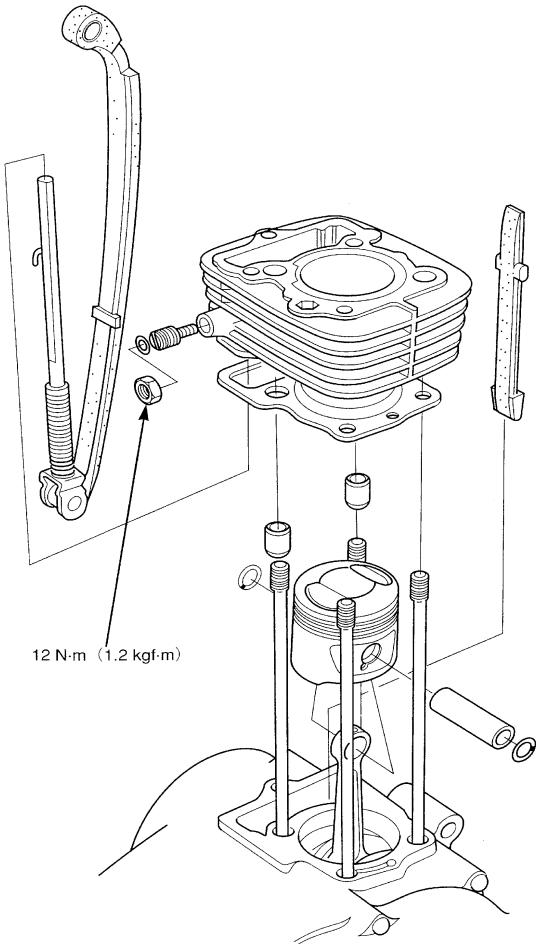
オイルポンプ下部にあるストレーナ(金網)は必ずきれいにして組み立ててください。部品をウエスでふいた状態で組み込んだり、軍手で作業したりするとこのストレーナに糸くずがつまり、オイルが回らなくなってエンジンを破損させます。



潤滑系統のトラブルはエンジンに致命的なダメージを与えるので、定期的に掃除するようにしてください。

6. シリンダーの取り付け





シリンダーおよびシリンダーヘッドの取り付けについては、ここでは一般的な取り付け手順を説明しています。
装着しているキットもしくは純正サービスマニュアルの指示に準じた取り付け手順を優先して下さい。

6-1. ピストンの、ピストンピン穴の片側にピストンピンサークリップを取り付けます。

6-2. ピストンに、ピストンリングを取り付けます。

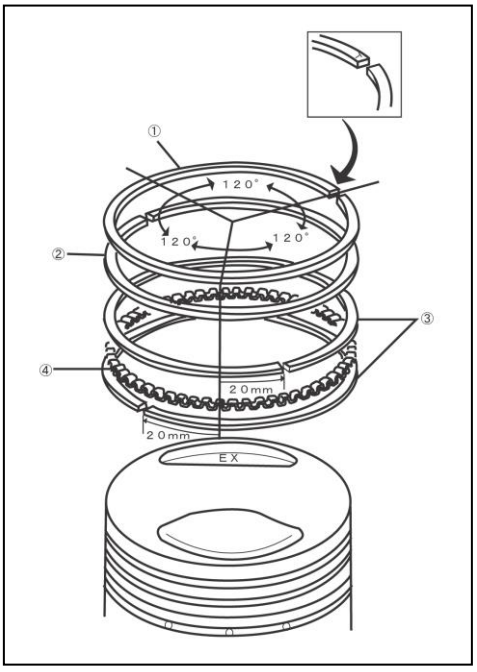
■ピストンリングの特徴

①トップリング
通常表裏の向きには指定があり、合いロ近辺にマークが示されています。

②セカンドリング
通常表裏の向きには指定があり、合いロ近辺にマークが示されています。

③オイルリングサイドレール
他のリングとは違い薄いリングになります。上下方向はありません。

④スペーサー
ばね状のリングで、エキスパンダとも呼びます。



6-3. ピストンのピストンピン穴、ピストンリングにオイルを塗布します。

6-4. ピストンピンと、コンロッドのピストンピン穴にオイルを塗布します。

6-5. リングの装着が終わったピストンに、ピストンピンを装着し、コンロッドに取り付けます。

> ⚠注意
> **ピストン吸気側と排気側を間違えないように装着してください。**

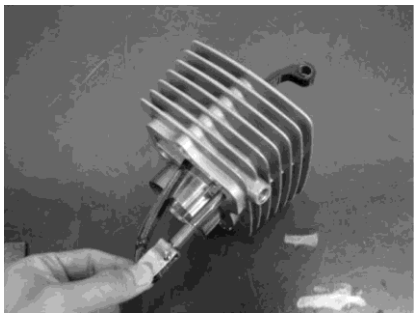
6-6. [10]ピストンピンサークリップを取り付けます。

> ⚠注意
> サークリップをクランクケース内部に落とさないようにウエス等をつめて作業してください。

6-7. クランクケースとシリンダー合わせ面をきれいに脱脂清掃します。

6-8. 手順 2-9 で取り外した純正ノックピンと、シリンダーベースガスケットをクランクケースに取り付けます。

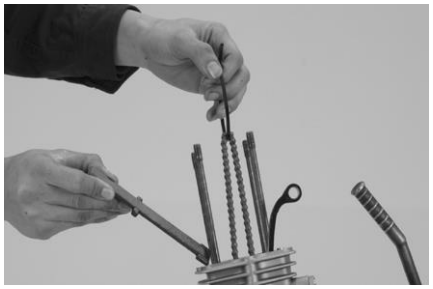
6-9. シリンダーに、純正カムチェーンテンショナーを取り付け、シリンダー内壁にオイルを塗布します。

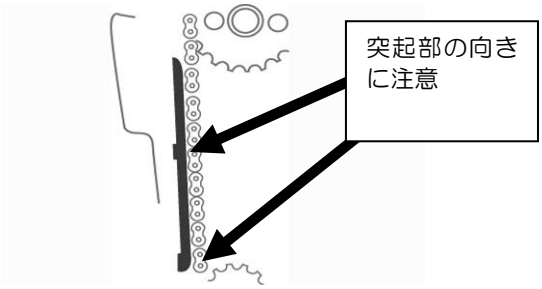


6-10. シリンダーをピストンに取り付けます。ピストンリングの合口がずれないように注意し、指で少しずつリングを押さえながら、シリンダーにピストンを挿入します。

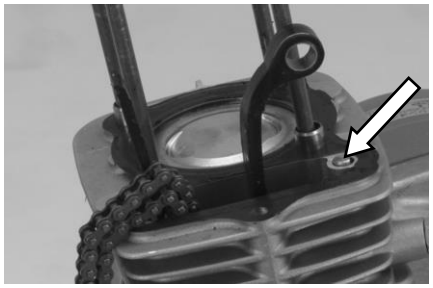
6-11. ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーを沈め、クランクケースにシリンダーをはめ込みます。

6-12. カムチェーンには結束バンドや針金を通しておき、カムチェーンを引き上げておきます。その後カムチェーンガイドをシリンダーに取り付けます。





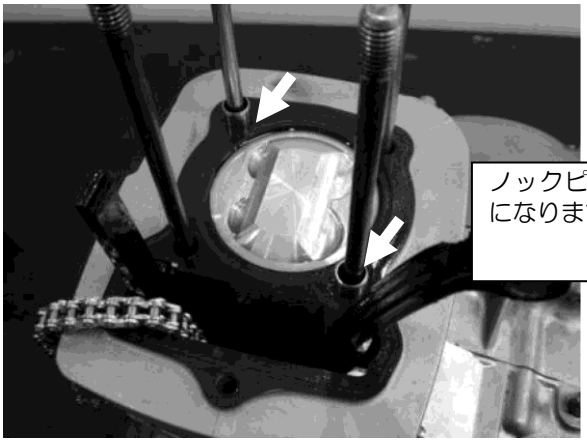
6-13. カムチェーンテンショナーは写真のようにシリンダー上面位置でセットしてください。シリンダーヘッド装着の際、テンショナーアジャストボルトの位置合わせが容易になります。



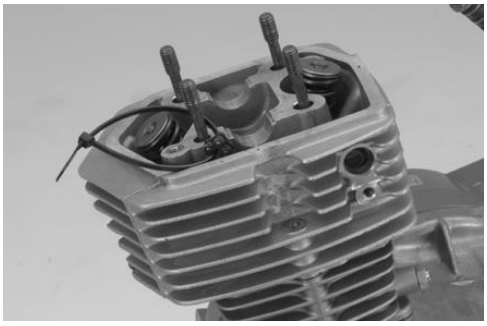
7. シリンダーヘッドの取り付け

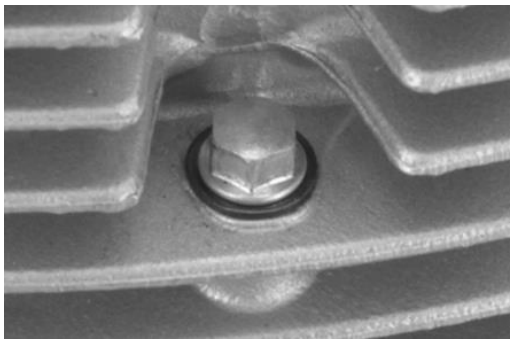
シリンダーおよびシリンダーヘッドの取り付けについては、ここでは一般的な取り付け手順を説明しています。
装着しているキットもしくは純正サービスマニュアルの指示に準じた取り付け手順を優先して下さい。

7-1. シリンダーに、ノックピンとヘッドガスケットを取り付けます。



7-2. カムチェーンをシリンダーヘッドＡＳＳＹ. に通し、シリンダーヘッドをシリンダーに取り付けます。その後シリンダーヘッド左側のボルトを仮付けします。

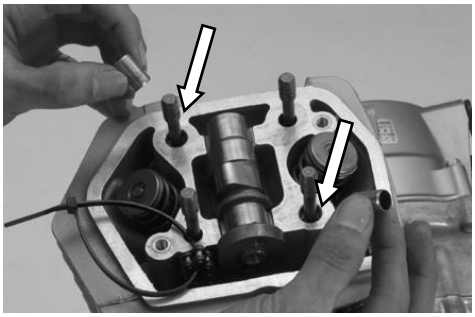




7-3. カムシャフトのカム面およびジャーナル面に、十分にオイルを塗布します。シリンダーヘッドのカム部分のくぼみにも、オイルを入れておきます。

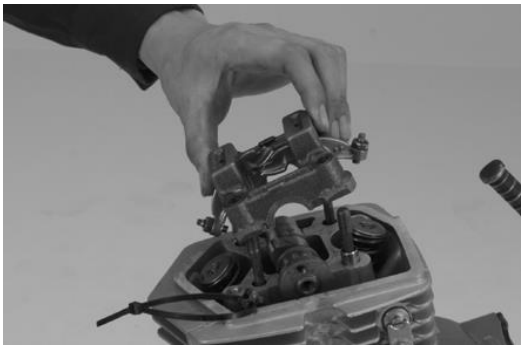
締め付けトルク
12N・m（1.2kgf-m）

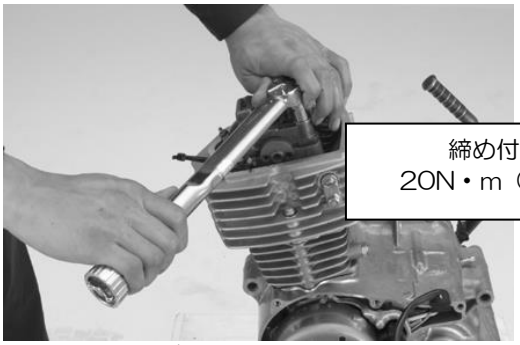
7-4. ノックピン２個と、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付けます。



ノックピン位置は矢印の位置になります。

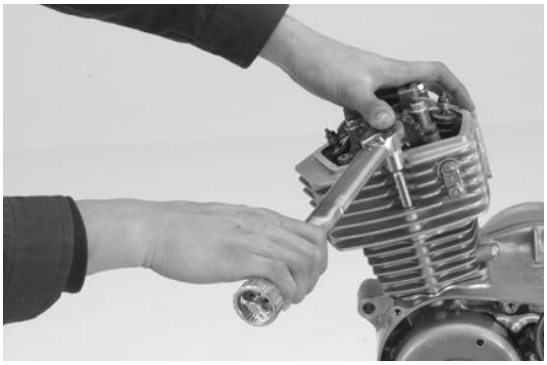
7-5. 手順 2-7 で取り外したカムシャフトホルダーをシリンダーヘッドに取り付けます。ワッシャを取り付け、ナットを対角に数回に分けて均等に締め付けます。





締め付けトルク
20N・m（2.0kgf-m）

7-6. 手順 7-2 で仮止めしていたシリンダーヘッド左側のボルトを規定トルクで締め付けます。

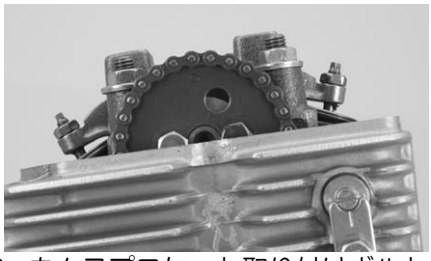


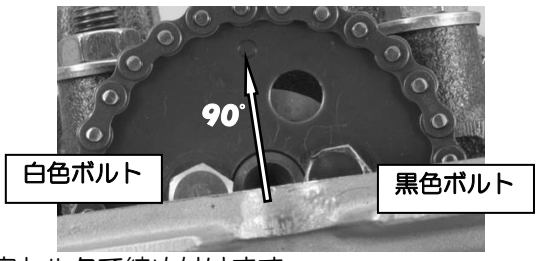
締め付けトルク
12N・m（1.2kgf-m）

7-7. フライホイールのマーク、もしくはプラグホールからドライバーで確認するなどして、上死点を正確に合わせてください。

7-8. カムスプロケットの“O”マークがシリンダーに対し垂直になるようにカムチェーンを取り付け、カムスプロケットをカムシャフトにはめこみます。この時、圧縮上死点がずれていないか確認してください。

7-9. カムチェーン装着後、ボルト 2 本でカムスプロケットをカムに固定します。ＩＮ側に黒色のボルト、ＥＸ側に白色のボルトを使用します。

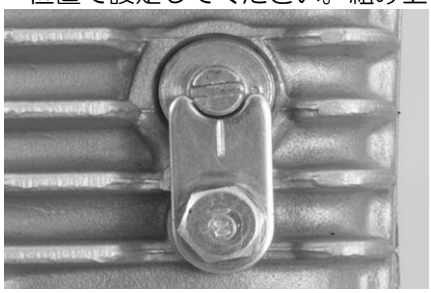


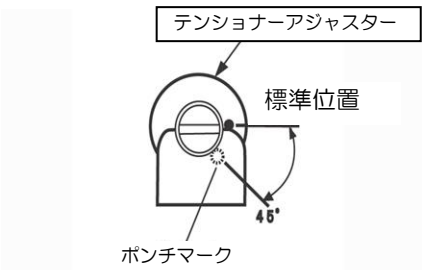


7-10. カムスプロケット取り付けボルトを規定トルクで締め付けます。

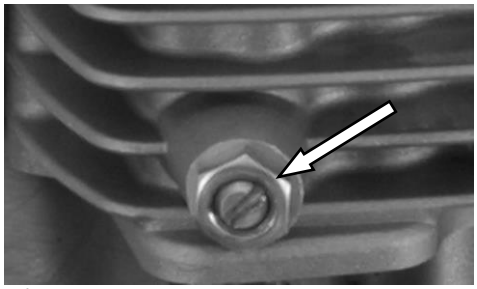
締め付けトルク
12N・m（1.2kgf-m）

7-11. 手順 2-2 で取り外したテンショナーアジャスターを、カムチェーンテンショナーに通しながらシリンダーヘッドに取り付け、セットプレートをロックボルトで固定します。アジャスターの位置は標準位置で設定してください。組み上げ後に再調整します。

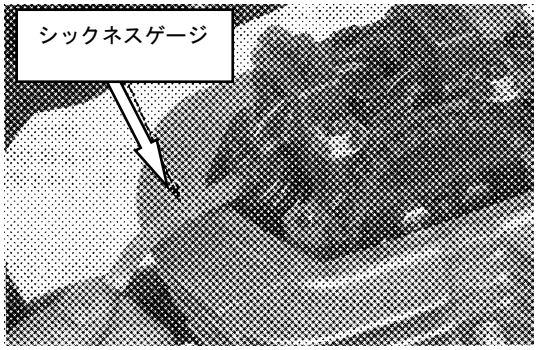




7-12. シリンダー後部のテンショナアジャストボルトとロックナットを締め付けておきます。



7-13. ピストンを上死点位置に合わせ、この時カムスプロケットの”O”マークがシリンダーヘッド上面に対して垂直になっているか確認します。ロッカーアームとバルブステムの間にシックネスゲージを入れ、バルブクリアランスを測定、調整します。



タペットクリアランス

ＩＮ／ＥＸ共に
0.05±0.02mm

7-14. ヘッドカバーを取り付けます。手順 2-1 で取り外したボルト、ガスケットを使用しますが、ボルトについているラバーが割れていたりする場合は、必ず新しい物と交換してください。

締め付けトルク
12N・m（1.2kgf-m）

7-15. スパークプラグを取り付け、規定トルクで締め付けます。

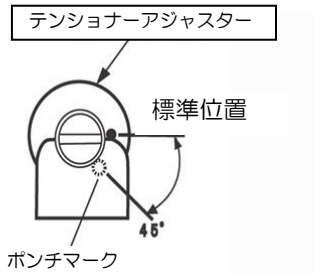
シリンダーヘッドの取り付け手順は以上です。
その後は取り外し手順を逆にたどり、

○ エンジンの搭載
○ キャブレター（キャブレターキット）の取り付け
※取り付け詳細はキャブレターキットの取扱説明書を参照、確認してください。
○ エキゾーストマフラーの取り付け
※取り付け詳細はマフラーの取扱説明書を参照、確認してください。
○ エンジンオイル注入
などを行い、各部の確認が完了したらエンジンを始動させます。

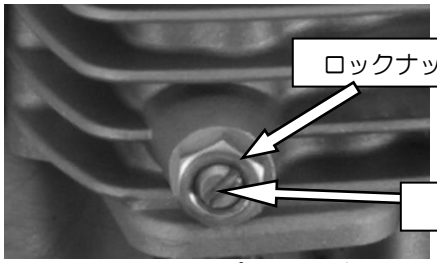
8. カムチェーン調整

8-1. エンジンを始動し、暖機運転を行います。暖機終了後エンジンを停止します。

テンショナアジャスタを留めているセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置から４５°の位置にずらし、セットプレートボルトを締め付けます。

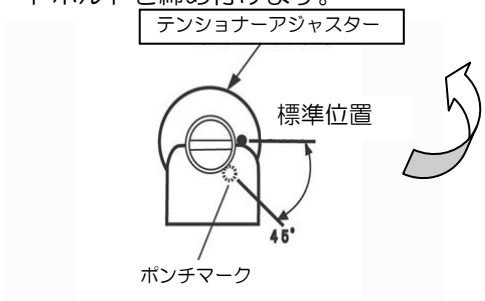


8-2. シリンダー側のテンショナアジャストボルトロックナットを緩め、その後テンショナアジャストボルトを緩めます。アジャストボルトを緩めるとスプリングの張力により、カムチェーンテンショナが自動調整されます。
調整完了後、アジャストボルトを締め付け、ロックナットを締め付けます。



ロックナット締め付けトルク
12N・m（1.2kgf-m）

8-3. テンショナセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置まで戻します。その後、セットプレートボルトを締め付けます。



8-4. エンジンを始動し、カムチェーンの音が適正であるか確認します。適正でない場合は、テンショナアジャスタのポンチマーク位置を標準位置から４５°の範囲で調整します。

□　オプション品　□ ※2009 年 1 月時点の品番および税抜価格となります。

商品名	品番	本体価格（税抜）	備考
パワーアドバンス アウターローター	65716	¥38,000	
ノーマルヘッド対応 ビッグボアキット	48110	¥22,000	ボア 57mm。この商品とくみあわせると 124.4cc になります。
FCC 強化クラッチキット	47914	¥11,500	
オイルクーラーキット（7 段コア）	61785	¥24,800	
オイルクーラーキット（10 段コア）	62759	¥27,000	
コンパクトテンプメーター	47101	¥6,500	
ホースジョイントフィッティング	43350	¥3,300	テンプメータのセンサーを取り付けるパーツです。

□　ホンダ純正部品（参考）　□

ガスケット、クランクケース	11191-KN4-750	クランクケース中央
ガスケット、R クランクケースカバー	11393-KN4-750	クラッチカバー部
ガスケット、L クランクケースカバー	11394-KN4-750	ACG カバー部

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805

この用紙は再生紙を使用しております。

URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで